



W
Power Alliance Tax Accountant Office
パワーアライアンス税理士法人
News

編集 発 行 人

パワーアライアンス税理士法人
税理士 若 杉 治
〒151-0073
東京都渋谷区笹塚3-37-1
第1花井ビル2F
TEL 03 (5365) 4744(代)
FAX 03 (5365) 4745
E-mail info@wakasugi.zei-mu.net

11月 (霜月) NOVEMBER
3日・文化の日
23日・勤労感謝の日

日	・	11	25
月	・	12	26
火	・	13	27
水	・	14	28
木	1	15	29
金	2	16	30
土	3	17	・
日	4	18	・
月	5	19	・
火	6	20	・
水	7	21	・
木	8	22	・
金	9	23	・
土	10	24	・

11月の税務と労務

- | | |
|--|--|
| 国 税 ／10月分源泉所得税の納付
11月12日 | 国 税 ／3月決算法人の中間申告
11月30日 |
| 国 税 ／所得税予定納税額の減額承認申請
11月15日 | 国 税 ／個人事業者の消費税等の中間申告
(年3回の場合) 11月30日 |
| 国 税 ／所得税予定納税額第2期分の納付
11月30日 | 地方税 ／個人事業税第2期分の納付
都道府県の条例で定める日 |
| 国 税 ／9月決算法人の確定申告
(法人税・消費税等) 11月30日 | |
| 国 税 ／12月、3月、6月決算法人の消費税等の中間申告
(年3回の場合) 11月30日 | |

※税を考える週間 11月11日～11月17日

ワンポイント 消費税の転嫁カルテル

消費税率引上げに際して、価格への消費税額上乘せや、端数処理の方法を決定する等、共通の利益を求める特定事業者団体の共同行為のこと。カルテルを結ぶことは独占禁止法違反になりますが、中小卸売業者や下請業者が、適正に消費税を転嫁し納入できるよう、特例措置が検討されています。

スマートシティ

世界の動き

新都市型と再開発型

日本国内の取り組み

海外への発信

2012年は、5月に金環日食、6月に金星日面経過、8月に金星食と、珍しい天文現象が目白押しでした。

金環日食.....

太陽が月の影に隠れて全体が見えなくなる現象を皆既日食といいます。金環日食も、月が太陽を覆い隠す現象ですが、全体を覆い隠すことができず太陽がリング状に残って見える現象をいいます。太陽と月と地球の並び方は、皆既日食と金環日食では同じですが、皆既日食のときと比べて金環日食のときは、地球と月の距離が離れているという違いがあります。

国内で金環日食が見られるのは1987年以来ですが、当時は沖縄で見られました。今回の金環日食は、九州南部から関東地方までの広い範囲で確認できたことから、メディアでも多く取り上げられました。次に国内で金環日食が観測されるのは、2030年6月です。このときは北海道で観測できます。

金星日面経過.....

太陽と金星と地球がほぼ一直線上に並び、金星が黒い点となって太陽の前を横切る現象を、「金星日面経過」といいます。太陽面通過と呼ばれることもあります。

惑星が太陽を通過する現象は、最近では2006年に水星の日面経過がありました。ただし、水星に比べて金星の方が、みかけの大き



さは大きいので、よりはっきりとこの現象が確認できました。

金星の軌道面と地球の軌道面は少しずれているので、太陽と金星と地球が一直線に並ぶことはあまりありません。そのため、金星の日面経過は、めったに見られない現象で、8年後→121.5年後→8年後→105.5年後の周期でくりかえします。前回の金星による日面通過は8年前の2004年、その前はさらに122年前の1882年でしたので、今回は105.5年後の2117年です。

金星食.....

月が金星の前を横切って金星を隠してしまう現象を、「金星食」といいます。

一般的に、惑星が月によって隠されて見えなくなる現象は、見られる地域が限られていることと、夜間にこの現象が起きるとは限ら

ないことから、きれいに見られる条件が揃うことは稀です。金星は、太陽や月の次に明るい惑星なので、比較的きれいにこの現象を観測することができます。今回、日本の広い範囲でこの現象が見られる絶好の機会でした。ただし、当日は日本の広い範囲で雲が広がり、金星食が観測できた地域は限られたようです。

2013年以降は.....

2013年には、5月にオーストラリアで金環日食が見られます。また日本では8月にスピカ食が見られます。スピカ食とは、おとめ座の1等星であるスピカが、月によって隠される現象です。前回は2006年に観測されました。

さらに、2014年の10月には日本でも皆既月食が見られるようです。月食は、太陽-地球-月の順番で並んだときに、地球から月を見ると、月が地球の影で暗く見える現象をいいます。特に、地球の影が月を完全に覆い隠すことを「皆既月食」といいます。ただし、皆既月食の場合でも、地球の大気で屈折した赤い光がわずかに見えるため、月が全く見えなくなるわけではなく、赤黒い色で見えるようになります。

天体現象は、頻繁に起こるものもありますが、めったに見られないものも多くあります。せっかくのチャンスを逃さないためには、事前の情報収集が欠かせません。

ユーロの歴史

2009年ごろから生じたギリシャ危機は、ヨーロッパ全体の金融問題に発展しています。そしてこの問題は、ヨーロッパの経済統合の要ともいえる通貨ユーロの存続危機につながるものが懸念されます。

1979年にヨーロッパ通貨制度が創設されました。そのときに導入された通貨単位ECU(エキュ)がユーロの基礎といわれています。この通貨制度によって、各国の通貨の相場が大きく変動することなく、安定するようになりました。そして、将来的には固定相場とし、共通通貨に移行させる方向で進められました。

1990年代には、ヨーロッパ共同体加盟国の中で、単一通貨を導入して、人やモノ・お金の動きをもっと活発化させようという動きが強まりました。そこで、1991年にマーストリヒト条約が採択され、ユーロ導入への具体的なスケジュールが決まりました。

その後、加盟国の財政状況の検査や新通貨の名称の決定などの段階を経て、ユーロの導入がなされました。

1999年の導入当初は、ドイツやフランス、イタリアなど11か国が参加しました。そして、2001年からギリシャが加わり12か国となりました。その後2007年から2011年にかけて5か国が加わりました。現在はヨーロッパ連合加盟全27か国のうち、17か国がユーロを法定通貨としています。これらの国々をユーロ圏と呼びます。

単一通貨を導入することで、通貨を換金する必要がなくなります。そのため、換金手数料や為替リスクがなくなり、違う国の会社同士の取引や投資といった経済活動が活発になるというメリットが考えられます。

しかし今回、単一通貨によって、ユーロ圏では経済格差が拡大しつつあります。今後、ヨーロッパの金融問題がどのように解決されるのか、注意する必要があります。

スマイルカーブ

電子機械産業の収益構造を表す言葉の1つに「スマイルカーブ」があります。これは、製品の企画開発や部品製造の段階とメンテナンスやアフターサービスの部分の収益性は高いものの、中間の製造段階はあまり儲からない傾向にあることをいいます。

この様子を、縦軸に収益性、横軸に事業のプロセスをとってグラフにすると、両端が高く中間部分が低い、いわゆるU字型の線を描くことができ、スマイルマークの口の形と同じになることから、「スマイルカーブ」と呼ばれています。

このような傾向は、電子機械産業だけではなく、多くの業界で見られる現象です。この現象が見られる業界では、製品の技術開発力と、消費者により近い分野のマーケティング力が、事業の成功のカギとなります。そのような分野へ人材や資本をシフトしていくことが、今後ますます進められるでしょう。

がん探知犬

犬の嗅覚を利用して、がん患者特有のにおいをかぎ分ける、がん探知犬が注目されています。この犬は、千葉県にある「セントシュガーがん探知犬育成センター」で飼育されています。九州大学の研究グループでは、大腸がん患者の呼気などを採取して実験をしたところ、九割以上の確率でがん患者のものをかぎ分けることができました。

さらにこの犬は、子宮頸がんや卵巣がんなど五種類の婦人科がん患者のにおいもかぎ分けられることが、日本医科大学の研究により確認されました。今後は、この犬がかぎ分けている、がんに通ずるにおいの物質の発見が待たれます。この物質が発見されると、呼気だけでなくがんの有無が判定できるセンサーの開発につながり、がんの早期発見がより進むことが期待できます。